

第3回運営指導委員会報告

平成14年2月21日(木) 11時20分～12時10分
於附属学校第二総合教室(9時40分～11時20分 中等
教育研究協議会 公開授業見学)

参加者 安彦忠彦教育学部長 速水敏彦学校長
田畑治教授 榊達雄教授 高木靖文教授
の場正美教授 早川操教授
寺田盛紀教授 吉田俊和教授
大谷尚教授 植田健男教授
金井篤子助教授 (以上教育学部)
文学部若尾祐司教授 根本二郎助教授
(以上名古屋大学)
愛知教育大学 坂柳恒夫教授 (以上他大学)
丸山豊 矢木修 齊藤真子 (運営委員)
山田孝研究部長 中村明彦 石川久美
佐藤俊樹 今村敦司 (研究部)
川田基生 三小田博昭 (研究委員)
福谷敏 (教務部長)
丹下容子 (進路部長)

1. 学部長挨拶

2. 学校長挨拶

3. 中等教育研究協議会について

- ・研究開発学校第二年次の取り組みについて
- ・公開授業と分科会

4. 研究開発第三年次の課題

5. 指導助言

- ・高校二年の授業では、豊かな表現手段で発表している。短いビデオを制作したり、パワーポイントで発表したり。文書だけだと発表できない生徒もいたのではないかと。多様な発表方法を駆使したのが良かった。また、沖縄中止をきっかけとして、いったいどんな授業が展開されるのか心配だった。沖縄研究旅行中止を受け止めて、臨機応変に対応できるようになったので、附属の力が付いてきたんだと実感できた。
- ・久しぶりに高校生の授業を見た。今時の高校生は何を考えているのか興味があった。人の意見を聞いて自分の意見を練り上げていく。そんな高校生の考え方のプロセスが見て取れる授業であった。見せる授業としてとても良かったのではないかと。問題点もなかったわけではないが、授業にはまりこんでしまった。

・選択プロジェクトの授業では、先生がテーマをしっかりと設定して生徒もその目標に向けて努力している。一見ふざけているように見える生徒でもちゃんと参加している。生徒がのびのびと参加している。表現力もある。新しい成果ではないか。また、大学との連携という点では、参加されている方もうらやましく思っているのではないかと。大学の教員の授業への参加や、院生が記録を撮ったり、全て一人でやっている先生方にはうらやましい限りではないか。

6. 閉会の挨拶

(文責：山田 孝)